



Atsuko Kudo Mail Magazine

230

2017.11.03

● Concerts in October

お元気でいらっしゃいますか？

8月20日以来、2か月半ぶりのメルマガになってしまいました。日本到着の報告も遅れましたことをお許しください。現在、大阪です。

9月23日に大阪に到着後、一週間ほど札幌の実家に行き、家の整理や掃除に専念。週末は、グループホームから帰省した妹とショッピング、食事に出かけました。6月に鼠径ヘルニアの手術を受けた父は、術後、腹部にたまった水もなくなり、すっかり回復したようです。皆さまのお祈りに感謝いたします。

10月は、高松（14日、15日）、神奈川県二宮（22日）、AKWM主催チャリティーコンサート（27日）、宝塚（29日）にてコンサート、メッセージ奉仕をさせていただきました。22日と29日は、それぞれ台風21号、22号と重なり、多くの皆さんが祈ってくださったおかげで、無事にコンサートを開催することができました。以下、10月の活動の報告をさせていただきます。

グローリーチャーチ高松(10月14日、15日)

ヘクセン・シヨス

写真をよく見ると気付かれると思いますが、実は椅子に座っています。コンサート前日、リハーサルが終わってから牧師先生ご夫妻と夕食に行った際、ちょっとした動きの際に、股関節に矢を刺されたかのような痛みを覚え、きちんと歩けなくなりました。

ドイツ語で、ぎっくり腰のことを、ヘクセン・シヨス（魔女の一撃）と言いますが、痛みが走ったとき、これは股関節のヘクセン・シヨスだと思いました。



コンサートの半分は椅子に座って歌い話し、聖霊の導きをいただきながら、無事プログラムを終えることができました。コンサートが終わったときには、賛美と証しのことばによって、股関節に打ち込まれたヘクセン・シヨスはすっかり消えていました。

15日の礼拝では、「キリストの十字架の身代わりのみわざ」についてメッセージをさせていただきました。語る私自身が、主の十字架の身代わりのみわざの感動に震えるひと時でありました。

キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。（ヘブル人への手紙 10章 14節）

赦しには解放がある

礼拝後、教会の皆さんと幸いな交わりの時を持たせていただきました。この教会の皆さんは、日本では珍しく、霊的にとても開放されていて、信仰がしっかりした方が多いのに驚きました。お話を聞くうちに、皆さんが、キリストにあって赦すことを深く学んで来た人たちであることを知りました。私自身、赦せなかった人を赦すことができた時、恨みや憤慨、仕返しなさまざまな戦略的思考から解放され、主の愛に満たされて行ったことを思い出しました。赦しには解放があります。主に赦された私たちが、これからは赦し続けて行くことが出来ますように。主が教会の皆さんを大いに祝福し、福音の宣教のために用いてくださいますように！

二宮山西キリスト教会(10月22日)

主が必要な方々を集めてくださる

台風21号が接近し、湘南海岸はかなりの暴風雨でした。しかし、小さな教会は、来場者で一杯になったのです。友人が、「主が必要な方々を集めてくださったのだと思った」とメールに書いて来ましたが、私もそう思いました。

朝の特伝礼拝では、活水聖書学院長の岩井清先生が、「地上のいのちと永遠のいのち」と題して心の深みに染み入るメッセージを語ってくださいました。



主が語ってください

午後のコンサートでは、教会からの要請で、伝道メッセージを語ってほしいとのことでしたので、高松でのメッセージ（十字架の身代わりのみわざ）を短くしたものを、コンサートの合間に語らせていただきました。ノンクリスチャンには難しい内容ではなかったかと心配になり、コンサート後、近隣から来られた方にお伺いしてみました。そうしたら、皆さん、「よく分かった」「心に響いた」「無信仰者だが、考えるきっかけをいただいた」とおっしゃいました。主が語ってくださったのだと思いました。主が皆さんをキリストの救いへと導いてくださいますように！

AKWM チャリティー・コンサート(10月27日)

ミャンマーの恵まれない子どもの家「ヤベツ学生の家」の修復工事支援のためのチャリティー・コンサートには、133人の方々が集まってくださり、主の祝福のうちに終わることができました。

今回は、子どもたちの世話人であるM宣教師（日本人女性）が、「ヤベツ学生の家」で暮らす4人の子どもたち（8歳、11歳、12歳、15歳）と女性スタッフの挨拶とカチン語の賛美のビデオを送ってくださったので、子供たちの様子が手に取るように分かり、とても身近に感じることが出来ました。

子どもたちの背景

ミャンマーには、大きく分けると8つの民族が住んでいますが、4人の子どもたちは、皆、ミャンマーの最北にあるカチン州出身のカチン族です。4人とも父親が事故や病で亡くなりました。母親と兄弟たちがいます。ただ、村では、女性は早婚で14、5歳になると結婚し、多産なため、夫が死ぬと、女性には何人もの子どもが残されます。伴侶に死なれると、女性でも男性でも大抵再婚します。その時、子どもたちは祖母に預けられることが多いのですが、食べることが精一杯で、ちゃんとした教育を受けさせることは出来ません。そこで、家族や教会の牧師先生たちが話し合って、子どもたちがヤンゴンに送られてきました。どうか、子供たちが、信仰をベースに豊かな人生を築いていけるように。そのために、「ヤベツ学生の家」が、健康な体、知性、心、霊性、価値観、社会性など、人生の基本ができる大切な年齢に、家庭的な環境と家族的なケアをもってサポートを続けて行けるように、主が日々の必要を与えてくださいますようお願いください。

11月末まで支援受付

AKWMでは、11月30日まで、続けて、「ヤベツ学生の家」の支援を受け付けます。祈り導かれました方は、以下のどちらかの口座に、「ヤベツ支援」と記入の上、お振込みください。インターネットバンキングの方、銀行振込の方は、振込後、メールでその旨をお知らせいただけますなら感謝です。



- ・郵便振替口座：口座記号番号 00930-1-165955
(口座名) 工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ
- ・銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 瓦町支店(003) 普通 0133752
(口座名) 工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ



宝塚栄光教会(10月29日)

今度は台風22号が、コンサートの時間に関西を通過する予定でした。前日、台風の進路が太平洋側に逸れてくれるよう祈って欲しいと、ドイツの教会に要請を出しました。そうしましたら、台風は100kmほど太平洋側に逸れ、宝塚は暴風雨件から外れました。それでも、かなりの雨風でした。

一週間前の二宮のことを思い、主が必要な方々を集めてくださることを信じて祈りました。来場者はいつもより少な目でしたが、コンサート後、何人かのノンクリスチャンが話しかけて来られました。主がその方々の心を開いてくださったようでした。その方々が、一日も早くイエスさまを救い主として信じることができますように！

今後の予定とお祈りのお願い

これから、ニュースレターの原稿書き、11月、12月のコンサートの準備をいたします。絶えず祈りつつ、すべてを主の導きの中で進めることが出来ますようお祈りください。11月中旬は、関東で祈り会に出席した後、一週間ほど札幌に帰省します。続けて父の救いのためにお祈りいただけますなら感謝です。

11月10日(金)～20日(月) 関東(祈り会)、札幌帰省

15日(水) 10:30～ 札幌聖書キリスト教会、ファミリーサロン、ミニコンサート 011-874-6697 (教会)

12月 4日(月) 18:45～ プレイズ・ワーシップ 連絡先 06-6226-1334 (ミッション宣教の声)

10日(日) 14:00～ クライストコミュニティ宝塚チャペル クリスマス賛美コンサート 0797-81-2870 (教会)

17日(日) 14:00～ 北信太聖書教会 クリスマス・コンサート 0725-41-6204 (教会)

24日(日) 14:00～ 青森県 五所川原福音キリスト教会 クリスマス・コンサート 0173-35-4363 (教会)

私たちの主イエス・キリストの恵みが、皆さまとともにありますように！

Atsuko Kudo

